

## 【コントロール（制御）ファイルのリストアとリカバリ】

制御ファイルに障害が発生した場合の対応方法（REDO ログは正常）

### 【制御ファイルに障害が発生した場合】

多重化の中の1つに障害が発生

手順1.

完全にシャットダウンを行う

SHUTDOWN IMMEDIATE

SHUTDOWN ABORT

※ どの制御ファイルが壊れているのかは、SHUTDOWN IMMEDIATE コマンド後のメッセージに表示される

ORA-00210：指定された制御ファイルをオープン出来ません

ORA-00202：制御ファイル：‘壊れた制御ファイル名’

手順2.

多重化された残ったファイルをコピーする

cp ./control02.ctl ./control01.ctl

手順3.

データベースを起動する

STARTUP

（全制御ファイルが損傷し、バックアップから戻すリストア手順）

### 【制御ファイルに障害が発生した場合】

多重化したすべてのファイルに障害

に対するリストアおよび、リカバリ処理

手順1.

完全にシャットダウンを行う

SHUTDOWN IMMEDIATE

SHUTDOWN ABORT

手順 2.

コントロール・ファイルがすべて損傷した場合の復旧方法については、最終ページの方法 A～D についてを参照のこと

手順 3.

データベースをマウント状態で起動する

STARTUP MOUNT

手順 4.

リカバリ処理を行う（アーカイブ・ログとオンライン REDO ログの適用）

〔 ※ このリカバリ処理は、古いコントロール・ファイルの状態に対して、最新状態に合わせるために、実施している 〕

RECOVER DATABASE USING BACKUP CONTROLFILE  
UNTIL CANCEL

〔 ※ USING BACKUP CONTROLFILE は、コントロール・ファイルをリストアして戻した時に使うオプション 〕

ログの指定 : |<RET>=suggested | filename | AUTO | CANCEL |

**AUTO**

キー入力して続行させる

ORA-01547 : ~~~~~ さらにリカバリが必要です  
と表示されて終了された場合

これは、オンライン Redo ログの適用が必要ということである  
このため、再度リカバリ・コマンドを実行する

RECOVER DATABASE USING BACKUP CONTROLFILE  
UNTIL CANCEL

ログの指定 : |<RET>=suggested | filename | AUTO | CANCEL |

オンライン REDO ログ・ファイルのファイル名を入力する (更新日時の古い順に指定)  
/app/oracle/oradata/ora10g/redo01.log

※ 「メディアリカバリが完了されました」と表示されるまで繰り返す

※ RECOVER コマンドでのオンライン Redo ログの適用は、1 回のコマンド実行ではログ・ファイルを 1 個しか指定出来ないの、オンライン Redo ログを複数個適用する場合には、RECOVER コマンドを必要回数繰り返す

制御ファイルをリストアした時は、  
リカバリを行うためには、**RECOVER DATABASE  
USING BACKUP CONTROLFILE** UNTIL CANCEL  
の指定を行う必要がある。

※ このリカバリ処理は、古いコントロール・ファイルの  
状態に対して、最新状態に合わせるために、リカバリ  
処理を実施している

詳細は、Oracle バックアップ・リカバリ実践テクニック

手順 5.

データベースをオープンする

~~ALTER DATABASE OPEN ;~~

~~もしくは、~~

~~ALTER DATABASE OPEN NORESETLOGS ;~~

~~もしくは、~~

ALTER DATABASE OPEN **RESETLOGS** ;

## コントロールの復旧方法

### 方法 A)

バックアップしてあるファイル (**バイナリー・ファイル**) からコピーする

バイナリ・ファイルのバックアップの場合、単純コピーで利用できる

```
cp /backup/ora10gctrl.bak /app/oracle/oradata/ora10g/control01.ctl
```

```
cp /backup/ora10gctrl.bak /app/oracle/oradata/ora10g/control02.ctl
```

```
cp /backup/ora10gctrl.bak /app/oracle/oradata/ora10g/control03.ctl
```

### 方法 B)

Create 用 SQL スクリプト (トレース・ファイル) から作成する

### 方法 C)

RMAN コマンドを使って、フラッシュ・リカバリ領域の autobackup ディレクトリに格納されたバックアップを使用する

### 方法 D)

RMAN コマンドを使ったバックアップをリストアする